

地球時代の選択肢
南アフリカに移住した家族
吉村 稔・吉村峰子（南アフリカ・ダーバン在住）



第 66 回

世界卓球国際大会のお弁当サービス

世界卓球国際選手権が 2023 年 5 月 20 日より 28 日まで南アフリカ・ダーバンで開催されました。この大会のテレビ中継は日本のテレビ東京が独占放送することとなり、私たちはそのテクニカルチーム約 100 名余のための連続 18 日間のお弁当サービスを請け負いました。

この大会も他の大きなスポーツイベントと同じように、まるで競技のように 4 年に一度、選抜を勝ち抜いた国が試合を開催します。今回のこのダーバン大会には日本のエースの早田ひな選手や張本智和選手も来ていらして、お弁当を作る側ではなかったら、毎日でも観戦したかったです。

さて、期間中に何を作ったか、の前に、「ああ、アフリカだなあ」と思わせられた出来事にも触れておきましょう。

たくさんのお弁当を作るために、スタッフも増員し、保管できるものは仕入れ、お米も割増し料金を払いつつも確保したその矢先、この仕事を依頼してくださった方から開催数週間前にこんな連絡が入りました。

「申し訳ありません、いま、大会組織委員会と揉めています。当方はもちろん許可を得て吉村さんの会社にお弁当を依頼していたんですが、いきなり会場へは外からの食べ物の搬入を禁止する、というお知らせが来ました。ただ委員会側の提案があやふやです。こちら側としてはスタッフの昼食、夕食をきちんと確保したいので、断固交渉中です。でも、万が一の時もあるかもしれませんので、お知らせしておきます」

これを聞いて、驚くよりも、「さもありなん」と思いました。

途上国では、いわゆる縁故主語とか身内のひいきとかが平然と行われているのです。こういった外国からお金が落ちるイベントに「組織を通さないと何もさせない」といった露骨な態度に出る主催者は山ほどいるのです。でも、形は違えども、これが途上国だけではないことは、日本のオリンピックなどの騒動を見ても歴然としていますね。裏ですか、表だつてするか、の違いだけです。

ただ、アフリカでの暮らしが長い私には、こういったことは粘り強く交渉すれば、なんとか道も見えてくるのも想像できました。アフリカでは多くの場合、交渉次第でいったん決定された事でもひっくり返ることが頻繁にあります。どうしてか、と思われるかもしれませんが、とにかく途上国ではすべてが揃ってからじゃないと物事が進まない、という思考形態がないのです。その場その場であるものや条件を使いながら善処する、とでもいいでしょうか。なので、途中で横やりが入ったり、他にいい方法が出てきたりしたら、結構大きな案件でもあっさり方向転換ができるような気がします。

そもそも外部からの食べ物の持ち込み禁止というルールであれば、もっと早くから参加国に断っておく必要があったはずです。この間に立っている日本人のコーディネーターさんには、引き渡し場所を工夫することなどを提案したのですが、なかなかいい反応は得られませんでした。

中止になったらなかなかの損害がでる、とさすがに焦り始めたのですが、案の定、しばらくして委員会側が折れました、との報告が来ました。最終的に、組織委員会の提示してきた形態では、全スタッフの食事を必ず毎食定時に提供することができない、という現実を大会側が認めて、最初の予定通り私たちがテクニカルチームのお弁当を提供できることになりました。

「良かった」と、喜んでいたのもつかの間で、ここで話がまたも変更になりました。今度は一日一食のはずが、二食の提供を頼まれてしまいました。一食につき約100個を超えるの食事の準備。それも日に二回。これはどう考えても私たちだけでは無理だと判断しました。ただ、確実に食事を用意すべきだと考え、急遽、お昼のサンドイッチとダーバンのカレーを別の人に作ってもらうことにしました。この人選も悩みましたが、近所に住む個人でケータリングの実績のある方が見つかり彼女に昼の分の食事の用意をお願いしました。

さて、18日間続いたお弁当のメニューは以下のとおりです。

	昼食	夕食
1日目	サンドイッチ ダーバンチキンカレー	塩サケハラミ定食
2日目	サンドイッチ ラムブリヤニ	燻製カキ炊き込みご飯定食
3日目	サンドイッチ ビーフカレー	唐揚げ定食
4日目	サンドイッチ チキンカレー	三色そばろ弁当
5日目	サンドイッチ チキンブリヤニ	魚フライ定食
6日目	サンドイッチ ダーバンチキンカレー	ピリ辛チキン定食
7日目	サンドイッチ ラムブリヤニ	ビーフコロケ定食
8日目	サンドイッチ ビーフカレー	生姜焼き定食
9日目	サンドイッチ チキンカレー	照り焼きミートボール定食
10日目	サンドイッチ チキンブリヤニ	ヒレカツ定食
11日目	サンドイッチ ダーバンチキンカレー	ビビンバ丼定食
12日目	サンドイッチ ラムブリヤニ	特製豚丼定食
13日目	サンドイッチ ビーフカレー	ハンバーグ定食
14日目	サンドイッチ チキンカレー	チキン南蛮定食

15 日目	サンドイッチ チキンブリヤニ	ポークステーキ定食
16 日目	サンドイッチ ダーバンチキンカレー	チキンカツ定食
17 日目	サンドイッチ チキンブリヤニ	チャーシュー弁当煮卵付き
18 日目	サンドイッチ ラムカレー	エビ&野菜天丼

日本から遠く離れたダーバンで、毎日日替わりでこれだけのお弁当を毎日 100 個近く作り上げたスタッフは本当にすごいです。しかも、この日替わり弁当には副菜も毎日最低 2 品つけました。ポテトサラダ、ホウレン草のお浸し、大学芋、人参のキンピラ、カリフラワーのチーズ焼き等々、合計 30 種類を超える副菜を準備するのは仕入れ段階から大変でしたが、毎日のように届く「美味しかった」の声を励みにみんなでがんばりました。

これですべてスムーズに行けば万々歳だったのですが、昼間のカレーが日本から来たチームにはどうしても重く、「昼にも日本食のお弁当を食べたい」というリクエストが来てしまいました。

ただ、もうサンドイッチとともにカレーも注文してしまったので、折衷案を考えました。それは、お昼一日 20 食に限りおにぎり弁当を提供する、というものでした。サンドイッチとカレーの数を減らし、こちらの負担もそうかからないであろうおにぎり弁当をサンドイッチと一緒に提供しました。おにぎり弁当には主菜とおかずを一品つけたので、毎日大人気で予約を入れてくださるスタッフの方もいたほどです。本音を言えば、カレー類ではなく、全部をおにぎりにしてあげたかったのですが、さすがに体力的にも時間的にもそれは無理でした。日本人にとって、シンプルなおにぎりがどれだけ安心するか、ということをお身にしみてわかっているだけに心苦しかったです。

それでも、この仕事をやり遂げたスタッフには自分たちの大きな自信につながりました。毎日毎日手順を考え、仕入れの量を決め、お米を洗い、主菜、副菜の調理をし、きちんと容器に詰め、数を確認し、配達する。こういった一見簡単に見えるような作業でも、実際に一個の間違いもなく、手際よく準備するのは、大人数人が真剣勝負で臨んだ 18 日間でした。

この後、今年は青空マーケットへの屋台の出店につながっていくことになりました。これからも彼女たちの奮闘を応援してください。



↑ポークステーキ弁当（じゃがいもターメリック炒め、春雨サラダ）